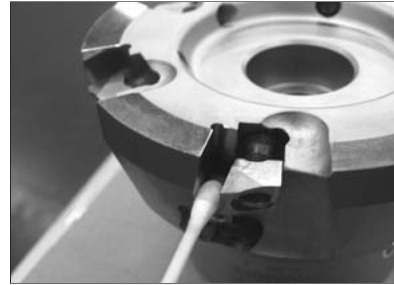
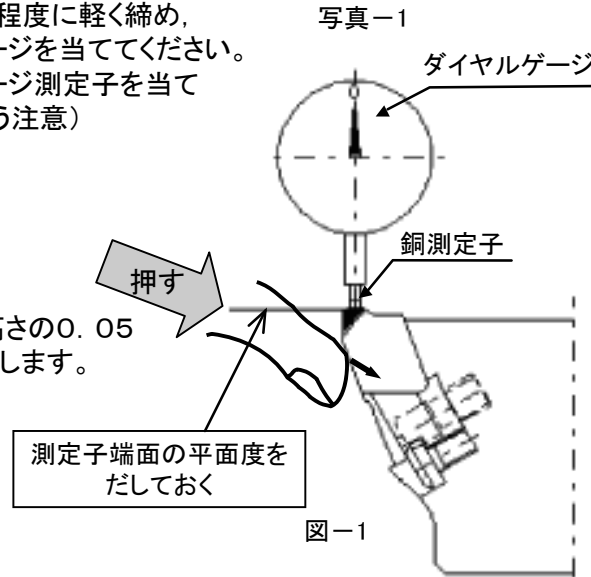


NF10000カッターのインサート手順と注意点

1. インサートを取り付ける前に、インサート座面に異物や油付着等が無い様清掃してください。
.....写真-1
※異物が付着したままインサートセットすると高速回転中非常に危険です！



2. インサートをクサビにて落ちない程度に軽く締め、インサートの先端にダイヤルゲージを当ててください。
(注意: インサートにダイヤルゲージ測定子を当てる際は、インサートがカケないように注意)
.....図-1



3. 調整クサビのネジを回し、基準高さの0.05mm手前までインサートをせり出します。
.....写真-2



写真-2

4. 最初の刃を基準刃とし、隣接溝から順に各刃を1~3項の作業を繰り返し、仮セットを行ってください。
.....写真-3



写真-3

5. 軽く締めていたクサビを一度緩め、改めてクサビを本締めしインサートを固定してください。
締め付けトルクは7.8~8.8N・m(80~90kgf・cm).....写真-4、5
(その際インサートは、下図の様に軽く指で押さえてタイヤを締める様に対角に締め込む)
.....図-2

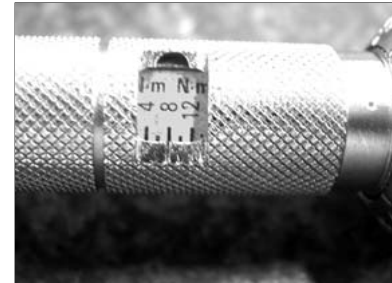
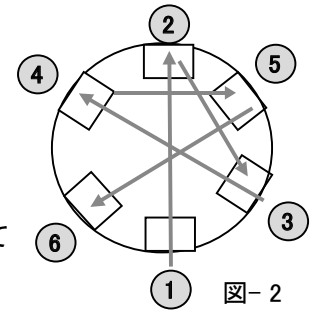
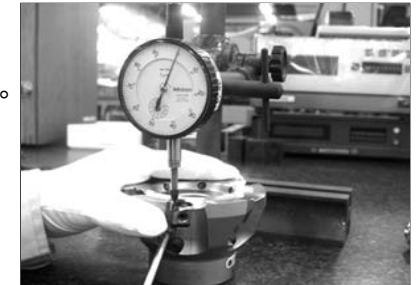


写真-4



写真-5

6. 最後に調整クサビを締め込み所定の高さに合わせインサート正面振れ調整を行ってください。
(刃の正面振れは0.005mm以下にセット)

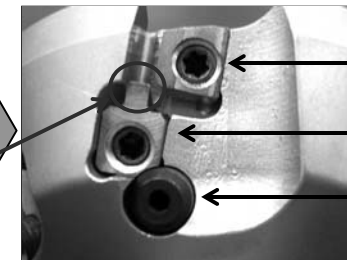


※万一、刃先が出過ぎた場合はクランプクサビを緩めてインサートを下げてから再度せり出し振れ調整をしてください。
本締め後一溝だけクランプクサビを緩めると隣接する溝の振れが変わりますので、緩める場合は再度1~6の作業を行ってください。
※クサビを本締めした際は、軽く締めていた状態に比べインサートは0.01mm前後せり出す現象が起こりますので仮締めの際はそれを考慮し、調整クサビでのせり出しを行ってください。

インサート飛散防止機構付き

※インサート調整用クサビは切削抵抗等で緩んでも、性能上問題ありません。再締め込み不要！

このクサビは高さ調整用なのでインサート受け座では有りません。



インサートクランプ用クサビ

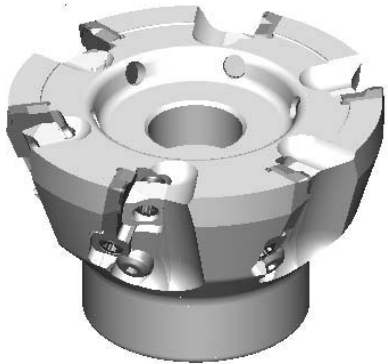
インサート調整用クサビ

飛散防止用ネジ
※絶対緩めないで下さい

アルミ加工用 高速加工対応刃形
新・高速正面フライス

NF10000形

《取扱説明書》

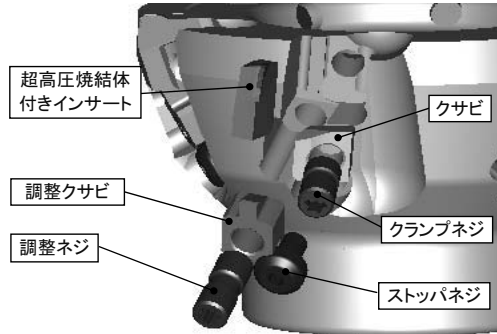


このたびは三菱マテリアルのアルミ加工用高速加工対応刃形 新・高速正面フライスNF10000形をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。お求めいただきました製品をお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読み頂き、NF10000形の優れた性能をフルにご活用下さい。

特長

- 高速フライス対応刃形。(インサート飛散防止機構)
- 刃先正面振れ調整クサビ方式採用。
- 仕上面粗度: 2μm以下。(低抵抗刃形; 副切刃幅 3 mm)
- インサートを再研磨してもカッター径が変わりません。

■対応部品



呼び記号						
	クサビ	クランプネジ	調整クサビ	調整ネジ	ストップネジ	トルクレンチ
NF10000R0305C	CWF10R1	LS10T	CWF10N	LS15T	CSAF10	TKY25T
NF10000R0406D						
NF10000R0508E						
NF10000R0306C						
NF10000R0408D						
NF10000R0510E						

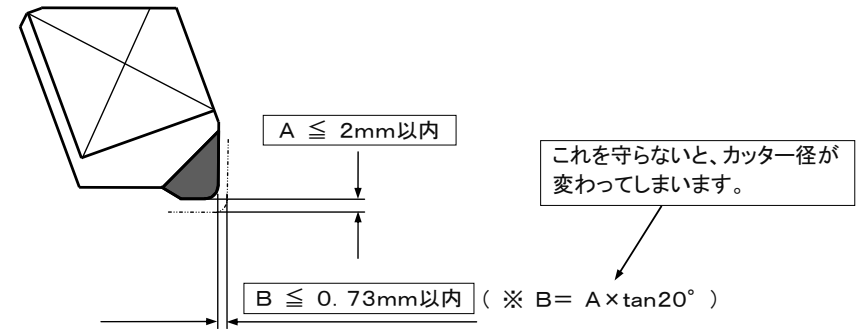
NF10000形 の使用上の注意

■『NF10000形』の許容回転数とクランプねじの締め付けトルクについて

型番	許容最大回転数	締め付けトルク
NF10000R0305/06C	16,000 min ⁻¹	8 [N・m]
NF10000R0406/08D	14,000 min ⁻¹	80[kgf・cm]
NF10000R0508/10E	12,000 min ⁻¹	6[Ft・Lb]

■『NF10000形』用インサートの再研磨量は、Max: 2mm以内でお使い下さい。(下図参照)

- 1刃当りの再研磨量



■『NF10000形』は専用インサートを、正面振れ: 0.005mm 以下(目標)にセットして、お使い下さい。(インサートセットはお客さまにて、お願い致します。)

NF10000形のインサート規格

形状	精度	呼び記号
	C	GDCN2004PDFR3

- (ご注意)・ストップネジは絶対ゆるめないで下さい。(接着剤で固定してあります)
- ・切れ刃は大変シャープですから、取り扱いには充分ご注意ください。
 - ・インサート交換の際にはインサート取付け部をエアブロー等で清掃して下さい。